

西明石地区活性化に向けた取組について

西明石地区については、JR西明石社宅用地等を含めたエリア全体のまちづくりを行うことを目的として、2020年（令和2年）12月にJR西日本と「西明石駅及び駅周辺におけるまちづくりの推進に関する協定」を締結し、具体的な事業の推進に向けた取組を進めているところです。

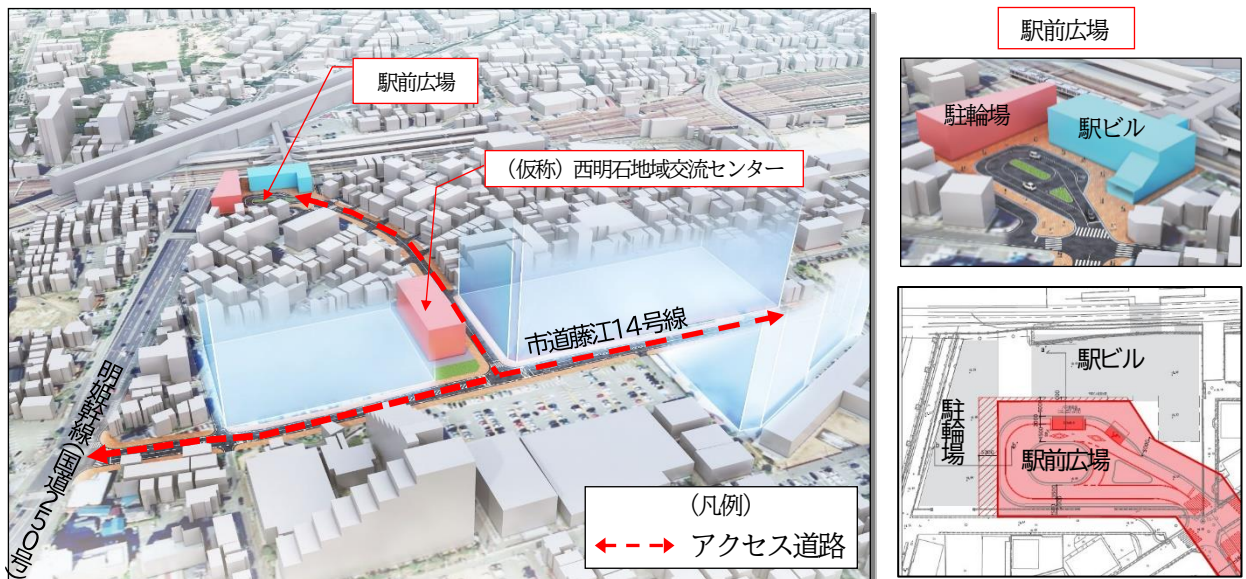
つきましては、直近の取組や新たに整備する地域交流拠点(以下「(仮称)西明石地域交流センター」という。)の整備計画(素案)及び今後の取組について、報告します。

1 これまでの取組について

都市計画手続きを進めるにあたり、2022年（令和4年）4月17日に都市計画の変更内容（駅前広場・アクセス道路・用途地域等）や事業の計画について地域説明会を開催しました。その後、説明会で頂いた意見等を同年6月の総務常任委員会へ報告したうえで、明石市都市計画審議会等の法定手続き（事前説明・案の縦覧・本審）を経て同年11月18日に都市計画決定の告示を行いました。

2023年度（令和5年度）より国の補助事業を活用しながら、事業着手できるよう、国や県への申請手続きを進めています。

2022. 4. 17	地域説明会の開催
2022. 6. 21	総務常任委員会にて報告
2022. 8. 29	明石市都市計画審議会（事前説明）
2022. 9. 20～10. 4	都市計画案の縦覧
2022. 10. 31	明石市都市計画審議会（本審）
2022. 11. 18	都市計画決定告示



2 (仮称) 西明石地域交流センター 整備計画 (素案) の概要

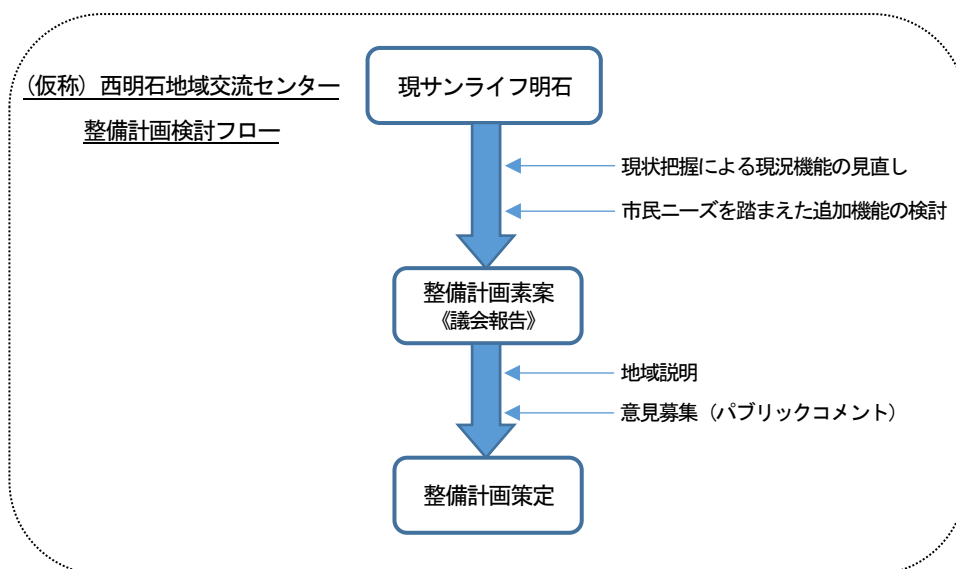
市民ニーズや現状の施設の利用状況分析を踏まえ、別添のとおり「(仮称) 西明石地域交流センター 整備計画 (素案)」を作成しました。

本施設が多くの人に利用され、交流を深めることができる「地域交流の場」となることを目指し、実質的な市の費用負担なしでの整備を進めます。

整備場所については、駅南側に整備予定の新たな改札口から明姫幹線 (国道 250 号) までを結ぶバリアフリーに配慮したアクセス道路の西側に面する位置とします。

また、整備時期としては、新たな改札口の使用開始予定である 2026 年 (令和 8 年) のオープンを目指します。

今後、当該素案について、地域への説明やパブリックコメント等により意見をお聞きし、頂いた意見等を反映させながら計画策定を行う予定です。



(1) 現サンライフ明石の現状

現サンライフ明石 (中高年齢労働者福祉センター) は、諸会合や研修、教養及び文化の向上、スポーツ及びレクリエーションの場を提供する施設として高い稼働率で利用されています。

1986 年 (昭和 61 年) 建設から 36 年が経過しており、施設の更新が必要であるため、現在の機能に加え、図書館機能や子育て世代など多様なニーズに対応した機能を追加すること、また、新たな機能に対応した柔軟な運営体制を踏まえた整備を行う必要があります。

(2) 西明石地区のまちづくりに対する市民ニーズ

過去に実施した市民意識調査 (2019 年実施「まちづくり市民意識調査」) によると、西明石地区は、他の地区に比べて「子育て環境の充実」や「学校教育の充実」を推進すべきと考える市民の方の割合が多い傾向となっています。具体的には、子どもの遊び場や学習スペースについての意見が寄せられています。

また、子育て施策に関する調査結果を具体的にみると、他の地区と比較して「地域の子ども支援活動」に係る評価が高いことから、地域コミュニティが活発に活動し、現在のサンライフ明石はその活動拠点の一つになっていることが伺えます。

一方、子育て施策の中で「本のまち推進」に対する評価は低い傾向にあり、2019年（令和元年）に実施したアンケートによると、図書館を利用しない理由として、「図書館が近くに無い」「時間が合わない」というものが多く、また自由意見でも西明石地区に図書館を整備することへの期待が多く寄せられました。

(3) 整備方針と導入機能（案）

サンライフ明石の現状及び課題、これまでに実施したアンケートなどで市が把握してきた市民ニーズを踏まえ、（仮称）西明石地域交流センターの整備方針（案）と導入機能を以下のとおりまとめました。

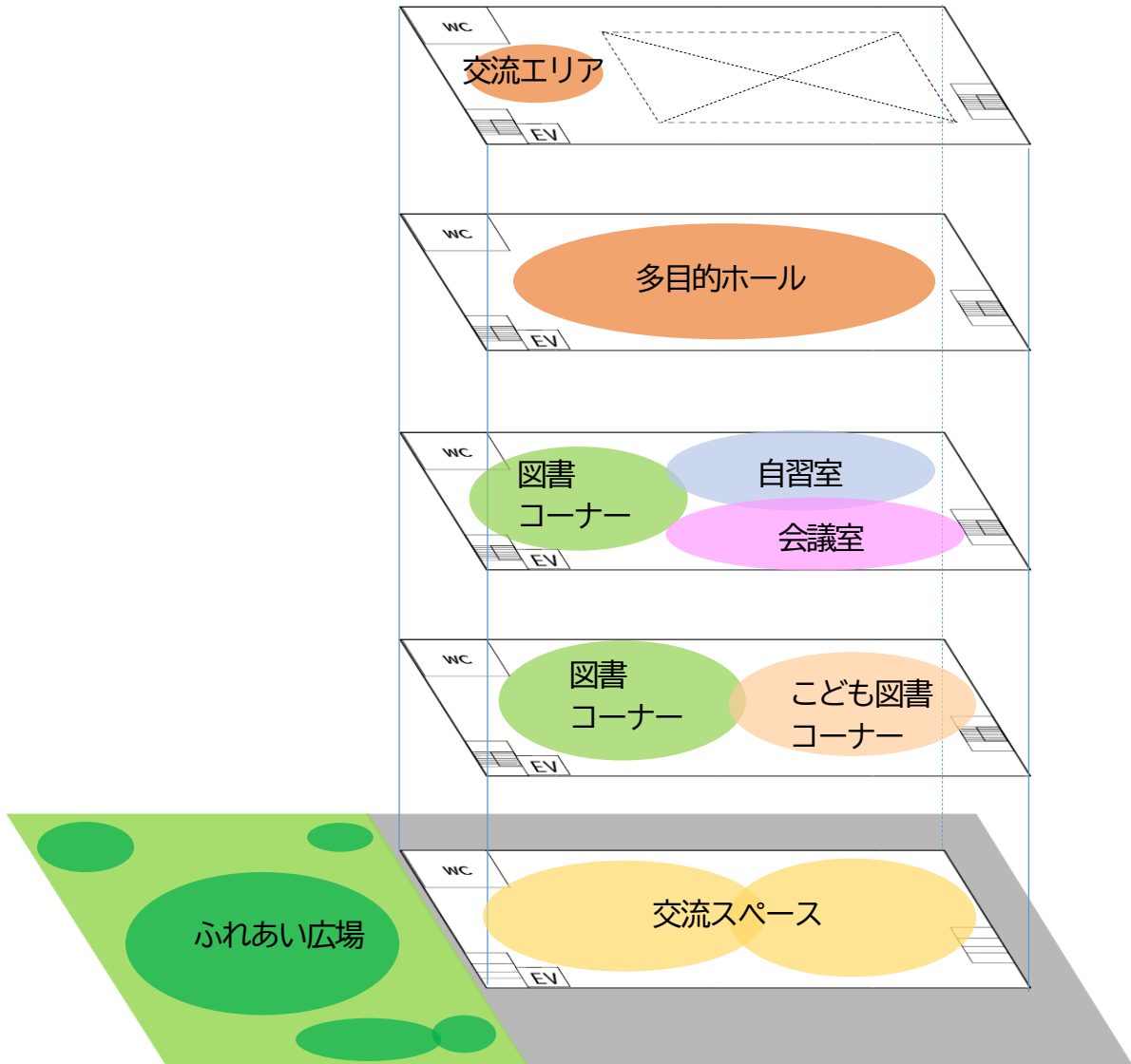
<（仮称）西明石地域交流センターの整備方針（案）>

現サンライフ明石の機能 +α			
○コンセプト	<p>「本と出会い、人とつながる交流の場」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現サンライフ明石の機能を発展させつつ、新たに「本のまち明石」を推進する図書コーナーと地域交流スペースを加えます。気軽に立ち寄れる機能を低層階に配置することで賑わいを生み、「本と出会い、人とつながる交流の場」を創出します。 		
○利用者イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・全世代だれもが利用できる施設（こども・子育て世代、若者、中高年） 		
○導入機能・施設	・文化・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的ホール ・会議室 ・研修室 ・交流スペース 	現サンライフの機能
	・社会教育	<ul style="list-style-type: none"> ・図書コーナー ・こども図書コーナー ・自習室 	市民ニーズを踏まえた機能を追加
	・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい広場(公園) 	

現サンライフ明石は、中高年齢労働者福祉センターとして整備された性質上、体育館やトレーニング室が施設の大半を占めています。

一方、今後整備を進めていく（仮称）西明石地域交流センターについては、全世代だれもが利用できる新しい交流拠点として幅広く多目的に利用される施設となるよう、文化・交流・社会教育・子育て支援に重点を置いて導入機能の検討を進めます。

(4) 各フロア配置イメージ



《整備イメージ》

●南池袋公園(豊島区)
(パークフルHPより)



●武蔵野プレイス(武蔵野市)
(フォト・ソトコトHPより)



●TENAMU 交流スペース(宮崎県小林市)
(ミヤザキ ワークेशनHPより)



(5) 建設工事費・財源

① 建設工事費

(仮称)西明石地域交流センターの延床面積は概ね 3,400 m²と想定しています。

建設費単価は建築着工統計データからの概算で 1 m²当たり 50 万円程度となり、建設工事費の総額は現時点で約 17 億円と見込んでいます。

なお、今後の建設物価の変動、地盤調査結果、構造条件等の変更により費用の増減がある場合は、基本設計段階で精査します。

② 財源

建設工事費の財源として、都市構造再編集中支援事業による国庫補助、公共事業等債による交付税措置を活用するとともに、JR西日本からの現サンライフ明石の土地売却収入を充てることにより、市の実質費用負担なしで建設を進める計画です。

3 今後の取組について

(仮称)西明石地域交流センター及び都市計画事業の整備について、下記のスケジュールで進めていきます。

スケジュール (予定)

事業		年度	2023 年度 (R 5 年度)	2024 (R 6)	2025 (R 7)	2026 (R 8)	2027 以降 (R 9)
都市計画事業	駅前広場	事業認可 地域説明会	測量・詳細設計	整備工事		施設暫定オープン ● 残部分整備工事	
	アクセス道路			物件調査	用地買収・整備工事		
(仮称)西明石地域交流センター			議会報告 パブリックコメント ● 整備計画策定 基本設計	実施設計・工事		施設オープン ● 旧施設解体	
駅ビル (改札) 《JR 事業》			設計	工事		施設オープン	